

# 近江八幡市食品ロス削減推進計画の概要

## 第1章 計画策定の趣旨等

### 計画策定の趣旨

日本では、まだ食べることができる食品が日常的に廃棄され、大量の食品ロスが発生。世界では飢えや栄養不良で苦しむ多くの人々が存在し食品ロス削減は早急に取り組むべき課題。SDGsでは、食品ロスの減少を重要な柱として位置付けており、国際的にも重要な課題。国では、令和元年に「食品ロスの削減の推進に関する法律」が制定され、県でも令和3年に「滋賀県食品ロス削減推進計画」を策定。

市民（消費者）、事業者、関係団体、行政等が連携協力し、食品ロス削減に向けた取組を推進するために本計画を策定。

### 計画の位置付け

食品ロス削減推進法に基づく法定計画

「滋賀県食品ロス削減推進計画」、「近江八幡市環境基本計画」、「近江八幡市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」等との調和を保つ。

## 第2章 食品ロスの現状と課題

### 食品ロスの現状

全国の食品ロス発生量（平成30年度） 年間約600万t（家庭系276万t、事業系324万t）  
本市の食品ロス発生量（令和元年度） 年間約1,800t（家庭系）  
市民1人あたり 年間約22kg 1日約60g 処理費用は年間約9,304万円

### 食品ロスの課題

家庭系食品ロス5つの課題、事業系食品ロス4つの課題

- ・食品ロスの発生量や発生要因等の詳細なデータの把握。
- ・食品ロス削減の取組「おうみはちまん食品ロス撲滅作戦」等について、啓発や支援。「フードバンク」を活用している事業者の活動例の情報共有や推進

## 第3章 計画の理念と目標

計画の理念 市民総参加でフードエコ 食べ残しゼロのまちへ！

### 計画の4つの基本方針

- ①食品ロス量や発生要因等の把握
- ②食品ロス発生抑制のための啓発・情報収集
- ③市民・事業者との連携協力による食品ロス削減の推進
- ④食品ロスの削減に向けた体制の整備

計画の目標 1人1日あたりの食品ロス量（家庭系）を15g削減

## 第4章 施策の展開（体系・内容）

4つの基本方針に沿って施策を展開

#### 施策① 調査

市民・事業者へアンケートの実施  
家庭系・事業系ごみの組成調査  
給食残菜（食べ残し）の調査

#### 施策② 認識

食品ロス削減に関する出前講座、学校教育の実施  
積極的な情報発信、事業者との情報共有

#### 施策③ 実践

フードバンク等の未利用食品活用の推進  
生ごみ処理器の啓発普及  
災害時用備蓄食料等の有効活用

#### 施策④ 連携協力

食品ロス協議会の設置  
関係団体との連携  
庁内部局との連携

## 第5章 計画の進行管理

本計画を推進するにあたって、「PDCAサイクル」に従った的確な進行管理を行います。

